

整理番号：9-2

提言題名：市長コラムについて

### 【提言の要旨】

市民としてのスタンスはどうあるべきか、市、市長として市民にどんな向き合い方をしていただけるのか、現在、将来を含めて考えながら生活しています。そんな中で僕にとって「広報とりで」はひとつの判断材料です。

ところで現市長が就任されてから半年になりますが、なお物理的にも精神的にも距離感があります。「広報とりで」への露出度も低いです。先代市長は広報の中に「市長コラム」欄を持ち、市としての公（おおやけ）の情報を時には超えた個人的な感想、自己の経験、ひととなり等を文字に変えて語られました。一方、現市長は半年たってもその姿がまるで見えません。就任間もないし（といっても早半年）、加えて水害があったりで多忙なことはわかりますが、だからこそ、お手すきの折に文章で残せば我々市民はいつでもそれらを読むことができるわけです。

皮肉ではなく、とりわけ役所の仕事は何ととっても”書き物”です。是非市民への文書によるアプローチを期待します。お考えもあろうかと思いますが、仮になにかのイベント会場でいくら語られてもその場に居合わせない市民にとっては……。月二回のコラム作成はご負担ではないはずです。

（令和5年9月受付）

### 【回答の要旨】

市長コラムにつきましては、4月に市長が就任された後、広報紙の状況を説明した上で、掲載を開始するか否かの協議をいたしました。協議の際のポイントとしては、「市民の皆様のご意見」と「掲載記事の増加」の2点が挙げられます。

まず、「市民の皆様からのご意見」については、市の方針や市長の思いなどが自らの言葉でつぶられていることへの好意的なご意見がある一方で、「市からのお知らせなどを優先すべきではないか」とのご意見もありました。

次に、「掲載記事の増加」については、当時、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き行動制限なども緩和されたことで、さまざまな活動（事業）が再開し、各部署などから提出される広報紙への掲載依頼が増えておりました。また、5月に新型コロナウイルス感染症の法律上の扱いが5類に引き下げられた後は、催しなどを中心に、掲載依頼がさらに増えることが予想されました。

以上の状況を踏まえた上で、市長からは「催しなどを含め、市の事業は、市の方針や市民の皆様の要望に基づいて実施されている。各部署から市民の皆様にお知らせすべき内容があるならば、まずはその情報のために紙面を有効活用してほしい」との考えが示されたため、市長コラムの開始は見送ることといたしました。

現時点においても市長コラムを開始する予定はございませんが、市の方針や各事業の背景にある市長の思いを市民の皆様にお伝えすることも重要であると考えます。各部署などからの情報は確保しつつ、例年1月1日号に掲載してきた新年の挨拶や新春対談のように、広報紙を通じて市長の考えに触れられる機会を設けられるよう検討してまいります。

（魅力とりで発信課 令和5年10月回答）